

The 7<sup>th</sup> Conference of the Japan Nursing Ethics Association

# 日本看護倫理学会 第7回年次大会 予稿集

会期 平成26年 5月24日(土)・25日(日)

会場 ウィンクあいち(名古屋市中村区)

大会長 太田 勝正 名古屋大学大学院医学系研究科

大会  
テーマ

## 患者の尊厳を守る

—臨床家とともに考える看護倫理—

Advocating Patient's Dignity

—Nursing Ethics Exploring with Clinical Nurses

The 7<sup>th</sup> Conference of the Japan Nursing Ethics Association

# 日本看護倫理学会

## 第7回年次大会

予稿集

大会テーマ

## 患者の尊厳を守る

—臨床家とともに考える看護倫理—

Advocating Patient's Dignity  
—Nursing Ethics Exploring with Clinical Nurses

会期 ◆ 平成26年 5月24日(土)・25日(日)

会場 ◆ ウィンクあいち (名古屋市中村区)

大会長 ◆ 太田 勝正 名古屋大学大学院医学系研究科

---

事務局 ◆ 名古屋大学医学部保健学科看護学専攻  
基礎看護学講座

(日本看護倫理学会 第7回年次大会)

〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20

TEL: 052-719-1921

E-mail: 758kango@gmail.com

年次大会HP <http://rinri7.umin.jp>

# 日本看護倫理学会第7回年次大会 開催にあたって —「おわり」からはじめ

日本看護倫理学会第7回年次大会

大会長 太田 勝正 名古屋大学大学院医学系研究科

第7回年次大会を名古屋で開催させていただきます。

開催にあたっては、地元尾張東海の愛知県、三重県、岐阜県、静岡県のみならず、長野県、福井県、石川県、富山県の併せて8県の看護協会から後援を頂くことができました。「患者の尊厳を守る —臨床家とともに考える看護倫理」という本大会のテーマを掛け声に終わらせないように、参加頂いた学会員の皆様と臨床・教育などの現場からお越しいただいた方々との活発な意見交換、情報交換ができるように大会関係者一同、最善を尽くしたいと思っております。

さて、大会のポスター(特にロゴや背景など)にはさまざまな意味が込められます。本大会 HP の「大会長あいさつ」でも少し触れておりますが、ポスターの背景に採用した「波紋」にはいくつかの意味が込められております。その第一は「知の波紋」です。看護倫理が一部の人の知識に留まっているだけでは、看護はよくなりません。看護倫理の知識が広く普及し(はじめの波紋)、やがてその知識から知が生まれ(第二の波紋)、看護のさまざまな場面に適用されていくこと(第三の波紋)が必要だと考えます。新たな知識は、研究発表(演題発表)などの場から提供されるでしょう。本大会では参加者の方に看護倫理についての体系的な知識と知に触れて頂けるように、基調講演の他にできるだけ多くの教育講演を組ませて頂きました。そこで投げかけられた波紋、すなわち看護倫理の知識と知が、やがてさまざまな臨床現場で活かされていくことを願っております。

波紋に込めた第二の意味は、文字通りの「波」です。本大会の企画にあたっては、思い切ったチャレンジもいくつか試みさせていただきました。それ自体が波であり、一部の関係者の方にさらなる波紋を呼んでしまったことを心苦しく思っております。その一つは、看護職については会員と非会員とで参加費に差を設けなかったことです。その他には、学生の参加費を極力低く抑え、さらにそれを大学院生(社会人学生を含む)まで適用したことなどがあります。大会運営(予算)上は厳しくなりますが、一人でも多くの「臨床家」の方に参加頂けるよう、また、次代を担う学生達にしっかりと看護倫理に触れてもらえる機会を提供することを目指しました。

本大会の波紋がどこまで広がるかは、参加頂いた皆様次第です。

歴史を振り返れば、秀吉の天下統一はこの会場から西へ数 Km のところにあった尾張国中村郷の小さな波紋(誕生)からはじまりました。再びここ尾張から、今度は看護倫理の波紋が広がり、日本の、そして世界の看護倫理の発展へとつながっていくことを祈っております。「おわり(尾張)からはじめ」です。

# INDEX

---

開催にあたって	1
日本看護倫理学会 第7回年次大会のご案内	3
発表者と座長の方へのご案内	4
交通のご案内	7
会場案内図	8
日 程 表	10
プログラム	12
大会長講演 抄録	15
基調講演 抄録	19
教育講演1 抄録	23
教育講演2 抄録	27
教育講演3 抄録	31
教育講演4 抄録	35
シンポジウム 抄録	39
学生セミナー	45
一般演題・交流集会	
交流集会 プログラム	51
一般演題(口演) プログラム	52
一般演題(示説) プログラム	56
交流集会 抄録	59
一般演題(口演) 抄録	67
一般演題(示説) 抄録	101
卒業研究掲示コーナー	129
日本看護倫理学会 第7回年次大会委員・学生ボランティア	133
謝 辞	135

# 日本看護倫理学会 第7回年次大会のご案内

## ■受付について

場 所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 第1会場（2階大ホール）前  
受付時間：5月24日（土）10:30～17:00（開場10:00）  
5月25日（日）9:00～15:00（開場9:00）

### 1. 事前登録をされている方へ

- 事前参加登録をされた方は、事前に送付した予稿集とネームカードをご持参ください。
- 当日は事前参加登録受付にお越しください。ネームホルダーをお渡しします。
- 記名台にてネームカードに必要事項をご記入の上、会場内での着用をお願いします。

### 2. 当日参加申し込みの方へ

- 当日参加受付で、参加費 会員9,000円、非会員（看護職<sup>\*1</sup>）9,000円、非会員（看護職以外）10,000円、学生<sup>\*2</sup> 1,000円と引き換えに、予稿集、ネームカード（領収書・参加証明書付）、ネームホルダーをお受け取りください。
- 記名台にてネームカードに必要事項をご記入の上、会場内での着用をお願いします。
- 学生の方は受付時に学生証をご提示ください。

<sup>\*1</sup> 保健師・助産師・看護師・准看護師 <sup>\*2</sup> 看護専門学校生、学部生、大学院生

## ■昼食・飲食について

- 第2会場（5階小ホール）内に休憩スペースを設けましたのでご休憩にご利用ください。その他のスペースでの飲食は禁止となりますのでご注意ください。
- 施設内には自動販売機・売店・喫茶（1階）がございます。
- 昼食は施設周辺の飲食店をご利用ください。

## ■発表用掲示ポスターの写真撮影について

- 発表者をご自身のポスターを写真撮影することは構いません。
- 他の発表者のポスターを無断で写真撮影することをご遠慮ください。写真撮影したい場合は、発表者の了解を取っていただきますようお願い申し上げます。

## ■クロークのご利用について

- 第1会場（2階大ホール）前ロビーにクロークを設置しますのでご利用ください。ただし、貴重品やこわれもの、生もの等はお預かりできません。なお、お預かりするものは、お一人様1点に限らせていただきます。
- ご利用時間 5月24日（土）10:30～18:00  
5月25日（日）9:00～16:15
- 施設内地下1階に、有料コインロッカーもございます。

## ■その他

- 施設内は全館禁煙になっておりますのでご協力をお願いします。
- 会場内では携帯電話・PHS等は、電源をお切りになるかマナーモードにしてください。
- 会場内での呼び出しは行いません。
- お困りの事がありましたら総合受付までご連絡ください。

# 交通のご案内



□ … ユニモール(地下街)出口 ○ … 地下鉄出口

## ■ 電車をご利用の場合

[JR・地下鉄・名鉄・近鉄] 名古屋駅より

- ・名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面へ……徒歩約 5 分
- ・ユニモール地下街 5 番出口から……徒歩約 2 分

※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由……徒歩 8 分

JR (東海道新幹線) をご利用の場合

- ・東京……約 97 分
- ・新大阪……約 51 分

## ■ お車をご利用の場合

名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より……約 6 分

駐車場…収容台数 123 台 (有料)

## ■ 飛行機をご利用の場合

中部国際空港 (セントレア) より名鉄空港特急利用で……約 28 分

※名古屋駅発各駅への所要時間は、乗り換え・待ち時間を含みません。  
また、時間帯により多少異なります。





第1日目 5月24日(土) ウィンクあいち

	第1会場 2F 大ホール	第2会場 5F 小ホール1	評議員会 10F 中会議室B
9:00			
10:00			10:00～11:00 評議員会
10:30～17:00	受付		
11:00			
11:30～12:30	総会	11:30～ 開場	
12:00			
13:00	13:00～13:45 大会長講演 患者の尊厳への思いを知るために —患者尊厳尺度国際版(iPDS)の開発— 太田 勝正 座長：八代 利香	13:00～13:45 映像(大会長講演)	
14:00	14:00～15:45 基調講演 The Role of Dignity in Nursing Ethics: What it means; How it has evolved; and Why it matters to Nurse Practitioners Ann Gallagher 座長：小西 恵美子 (通訳あり)	14:00～15:45 映像(基調講演)	
15:00			
16:00	16:00～17:00 教育講演 1 ターミナルケアにおける倫理上の ジレンマとどう向き合うか 向井 未年子 座長：片岡 純	16:00～17:00 映像(教育講演 1)	
17:00			

情報交換スペース  
(参加者休憩室)

第2日目 5月25日(日) ウィンクあいち

	第1会場 2F 大ホール	第2会場 5F 小ホール1	第3会場 10F 大会議室1	第4会場 10F 大会議室A	第5会場 11F 中会議室A1	第6会場 11F 中会議室A2
9:00	9:00～15:00 受付					
10:00	10:00～11:00 <b>教育講演 2</b> 看護倫理を実践の中で “みる” 勝原 裕美子 座長：安藤 祥子		10:00～11:00 <b>一般演題</b> 口演1群 [研究報告1] O-01～O-05 座長： 町屋 晴美	10:00～11:00 <b>一般演題</b> 口演5群 [実践報告1] O-18～O-22 座長： 長谷川しとみ	10:00～11:00 <b>交流集会 1</b> 臨床実習は辛い？楽しい？ -みんながhappyになる 実習は存在するの？-	10:00～11:00 <b>交流集会 2</b> 看護倫理教育の課題と可能性 -看護倫理、どう教えて ますか？
11:00	11:15～12:45 <b>教育講演 3</b> 看護実践に活かす 臨床倫理の考え方 -「臨床倫理」支援 体制の構築- 板井 孝彦郎 座長：前田 樹海	11:00～15:00 示説コーナー 掲示時間	11:15～12:05 <b>一般演題</b> 口演2群 [研究報告2] O-06～O-09 座長： 鈴木 久美子	11:15～12:15 <b>一般演題</b> 口演6群 [実践報告2] O-23～O-27 座長： 川口 悦子	11:15～12:15 <b>交流集会 3</b> DV、性暴力、 児童虐待被害 者の司法看護 実践	11:15～12:15 <b>交流集会 4</b> 医療や看護を 受ける高齢者 の尊厳を守る ためには？
12:00						
13:00	13:00～14:00 <b>教育講演 4</b> 小児を取り巻く倫理 大橋 恵 座長：浅野 みどり	13:00～14:00 <b>示説ディス カッション タイム</b> 示説1群 P-01～P-11	13:00～14:00 <b>一般演題</b> 口演3群 [研究報告3] O-10～O-14 座長： 小川 恵子	13:00～14:00 <b>一般演題</b> 口演7群 [事例報告] O-28～O-32 座長： 高木 仁美	13:00～14:00 <b>東海 看護倫理 検討会</b>	13:00～14:00 <b>学生セミナー</b> Ann Gallagher
14:00	14:15～16:15 <b>シンポジウム</b> 認知症ケアにおける 患者の尊厳と 倫理上の課題 山田 正己 伊藤 裕基子 高道 香織 座長：會田 信子 大川 明子	14:00～15:00 <b>示説ディス カッション タイム</b> 示説2群 P-12～P-22	14:15～14:55 <b>一般演題</b> 口演4群 [その他意見・提言] O-15～O-17 座長：永坂 和子	14:15～14:45 <b>委員会報告</b>	14:15～15:15 <b>交流集会 5</b> 看護師の継続 教育の視点で 日常臨床場面 の倫理的問題 を考える	14:15～15:15 <b>交流集会 6</b> 身体拘束は本 当になくせな いの？
15:00		15:00～15:45 ポスター 撤去		災害支援ナースが直 面した倫理課題に関 する調査 第1報 学術活動推進委員会		
16:00	16:15～ 閉会の挨拶					
17:00						

# 日本看護倫理学会第7回年次大会 プログラム

平成26年5月24日(土)・25日(日)

## 患者の尊厳を守る

—臨床家とともに考える看護倫理—

## Advocating Patient's Dignity

-Nursing Ethics Exploring with Clinical Nurses

1日目：5月24日(土)

受付 10:30～17:00 第1会場前ロビー(2F 大ホール)

評議員会 10:00～11:00 (10F 中会議室B)

総会 11:30～12:30 第1会場(2F 大ホール)

大会長講演 13:00～13:45 第1会場(2F 大ホール)

座長：八代 利香(第6回年次大会大会長、鹿児島大学医学部保健学科 教授)

「患者の尊厳への思いを知るために —患者尊厳尺度国際版(iPDS)の開発—」

太田 勝正(名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

基調講演 14:00～15:45 第1会場(2F 大ホール)

座長：小西 恵美子(長野県看護大学 名誉教授)

“The Role of Dignity in Nursing Ethics : What it means ;  
How it has evolved ; and Why it matters to Nurse Practitioners”

Dr. Ann Gallagher (University of Surrey. Editor, Nursing Ethics)

教育講演1 16:00～17:00 第1会場(2F 大ホール)

座長：片岡 純(愛知県立大学看護学部 教授)

「ターミナルケアにおける倫理上のジレンマとどう向き合うか」

向井 未年子(愛知県がんセンター中央病院 がん看護専門看護師)

2日目：5月25日(日)

受付 9:00～15:00

第1会場(前ロビー 2F 大ホール)

教育講演2 10:00～11:00

第1会場(2F 大ホール)

座長：安藤 詳子(名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

### 「看護倫理を実践の中で“みる”」

勝原 裕美子(聖隷浜松病院 副院長兼総看護部長)

教育講演3 11:15～12:45

第1会場(2F 大ホール)

座長：前田 樹海(東京有明医療大学看護学部 教授)

### 「看護実践に活かす臨床倫理の考え方 —「臨床倫理」支援体制の構築—」

板井 孝彦(宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科生命・医療倫理学分野 教授  
宮崎大学医学部附属病院中央診療部門 臨床倫理部 部長(兼任))

教育講演4 13:00～14:00

第1会場(2F 大ホール)

座長：浅野 みどり(名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

### 「小児を取り巻く倫理」

大橋 恵(チャイルド・ライフ・スペシャリスト協会、  
(元)独立行政法人国立成育医療研究センター、  
認定チャイルド・ライフ・スペシャリスト)

シンポジウム 14:15～16:15

第1会場(2F 大ホール)

座長：會田 信子(名古屋大学大学院医学系研究科 准教授)  
大川 明子(名古屋大学大学院医学系研究科 准教授)

### 「認知症ケアにおける患者の尊厳と倫理上の課題」

シンポジスト：山田 正己(ナーシングホーム気の里 副施設長)

伊藤 裕基子(江南厚生病院 主任看護師 訪問看護認定看護師)

高道 香織(国立長寿医療研究センター 看護師長 老人看護専門看護師)

学生セミナー 13:00～14:00

第6会場(11F 中会議室 A2)

---

Dr. Ann Gallagher (University of Surrey. Editor, Nursing Ethics)

一般演題(口演) 10:00～14:55

第3会場(10F 大会議室 1)、第4会場(10F 大会議室 A)

---

一般演題(示説) 13:00～15:00

第2会場(5F 小ホール 1)

---

(ディスカッションタイム: 示説1群 13:00～14:00、示説2群 14:00～15:00)

交流集会 10:00～15:15

第5会場(11F 中会議室 A1)、第6会場(11F 中会議室 A2)

---

東海看護倫理検討会 13:00～14:00

第5会場(11F 中会議室 A1)

---

卒業研究掲示コーナー 11:00～15:00

第2会場(5F 小ホール 1)

---

# 大会長講演

「患者の尊厳への思いを知るために  
—患者尊厳尺度国際版 (iPDS) の開発—」

太田 勝正

名古屋大学大学院医学系研究科 教授

座 長

八代 利香

鹿児島大学医学部保健学科 教授

日 時：5月24日(土) 13:00～13:45

会 場：第1会場(2F 大ホール)

# 患者の尊厳への思いを知るために —患者尊厳尺度国際版 (iPDS) の開発—

太田 勝正

名古屋大学大学院医学系研究科

## 1. 患者の尊厳の位置づけ

患者の「尊厳」。それは「安全」とともに看護、医療においてもっとも重要なテーマの一つである。そして、例えば日本看護協会の「看護者の倫理綱領」の第1条に、「看護者は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する」と示されるように、私たち看護職の行動指針の当然とも言える基盤となっている。でも、私たちは日頃、どの程度「(患者の) 尊厳」を意識し、対応できているだろうか？ 臨床の場面から、研究に目を移して患者の尊厳について見てみよう。論文データベース医中誌 Web で、「尊厳」を検索すると、「尊厳」は「人間の尊厳」というシソーラス用語の同義語であり、他の同義語「個人の尊厳」「人間としての尊厳」「尊厳 - 個人の」「尊厳 - 人間の」を併せて1,822件の論文(うち、原著論文450件、解説・総説等926件、341件の会議録、など)が見つかった。これが多いのか少ないのかを他のテーマ(キーワード)と比較すると、「疼痛」166,022件、「疼痛緩和(フリーキーワード)」2,512件、「権利(フリーキーワード)」8,499件、「患者中診(フリーキーワード)」4,482件、「プライバシー」5,836件(いずれも、H26年4月14日現在)であり、「(患者の) 尊厳」があまりに基本的なテーマ過ぎるためか、研究テーマとしてはそれ程多く取り上げられていないことが窺える。

## 2. 患者のプライバシーから尊厳へ

正直なところ、自分自身はじめは「尊厳」をテーマとする研究は行っていなかった。科研のテーマとしては長年にわたり、「患者のプライバシー」とくに「情報プライバシーという」今日の情報化社会の中で注目されてきた個人情報(患者情報)の収集・利用(活

用)とプライバシーの保護のバランスをテーマに研究を進めてきた。そんな中で、共同研究者(井口:旧姓)がまとめた「入院患者の情報プライバシー認識尺度(PIPS)」について、今回基調講演をお願いしているギャラガー先生と話す機会を得た時に、「なぜ、(情報)プライバシーだけに注目しているのか。なぜ、患者の尊厳全体に目を向けないのか」という疑問をぶつけられた。イギリスでは看護の現場においては、患者の尊厳をいかに保つかがすでに大きな問題となっており、例えば、2008年に英国看護協会が行った調査では、尊厳への配慮の重要性に気づき、尊厳に配慮したケアを行いたくても十分にできない設備面、組織文化的な問題などが生じていることが具体的に示されている。確かに、情報プライバシーの問題もこれから大切であるが、もともとプライバシーは尊厳を構成する要素の一つである。臨床の現場にこのプライバシーより大きな問題、もっと根源的な問題が存在していることを考えれば、研究のための研究ではなく(もちろん、そんなつもりはないが)、臨床現場によりよく還元できるテーマに転換すべきだと考え直し、タイトルに示した患者尊厳尺度国際版の開発に取り組むこととした。ちなみに PIPS は、(1) 病名や検査結果など9項目からなる「治療関連情報」、(2) 名前や生年月日など6項目からなる「属性情報」、(3) 睡眠習慣や食生活など4項目からなる「日常生活行動関連情報」、(4) 価値観や家計の問題など5項目からなる「私生活関連情報」の4因子24項目の患者が自分自身の情報について医療関係者にどの程度知られてもよいと認識しているのか(プライバシー感の程度)を測定する信頼性と妥当性が確認された尺度である。

## 謝 辞

日本看護倫理学会 第7回年次大会の開催にあたりまして、下記の看護協会よりご後援を賜り有り難うございました。また、日本看護倫理学会理事・監事の先生方には、多大なご支援を頂きましたことをここに謹んで御礼申し上げます。また、骨身を惜しまず、大会の準備と運営に携わって頂いたすべての関係者に心より感謝申し上げます。

日本看護倫理学会 第7回年次大会  
大会長 太田 勝正

## 後 援

(五十音順)

公益社団法人 愛知県看護協会  
公益社団法人 石川県看護協会  
公益社団法人 岐阜県看護協会  
公益社団法人 静岡県看護協会  
公益社団法人 富山県看護協会  
公益社団法人 長野県看護協会  
公益社団法人 福井県看護協会  
公益社団法人 三重県看護協会

## 日本看護倫理学会 第7回年次大会 予稿集

---

大会長：太田 勝正 名古屋大学大学院医学系研究科

事務局：名古屋大学医学部保健学科看護学専攻基礎看護学講座

〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20

FAX：052-719-1921

E-mail：758kango@gmail.com

出版：株式会社セカンド  
<http://www.secand.jp/>

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

日本看護倫理学会第7回年次大会 事務局

---

名古屋大学医学部保健学科看護学専攻  
基礎看護学講座

〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20

TEL: 052-719-1921

E-mail: 758kango@gmail.com